

# じんげん asile

2026

大谷大学広報誌

学内広報誌

じんげん asile

pp.2-3 木越 康 新学長メッセージ

## 新しい経験から、 自分を創造する

pp.4-5

## 進化する大谷大学 2028 Otani next update!

—大谷大学将来構想—

## 時代をみつめる

教員Column

### 誰のため？から考える博物館の展覧会

とある市立博物館に勤務していたときのことだ。「博物館でどんな展示をみたいですか？」といった問いを館長が市民に投げかけていた。こどもや育児中の家族、若者はアニメやマンガなどのキャラクター展を、高齢者は著名な芸術家の作品展や地元の歴史・文化の展覧会を望む傾向があった。

この傾向は、どの博物館でもよくみられることだと思う。ただそれは重い問題に行き着く。例えば、ポケモン展をすれば、子どもや若者は来てくれるが、それを知らない高齢者が来ない。一方で、市内の伝統工芸を紹介する展示をすれば、その逆だ。何らかのニーズに応えようとすれば偏りは当然出る。問題はこの偏りが生じることで、それは全市民が楽しめない展覧会だったと館内部で評価されてしまうことだ。誰かが楽しめないことは起こりうることであるのに、それが悪いこととされると、担当学芸員には精神的には負担だ。

最近「ポケモン×伝統工芸」展という展覧会が開催されている。それは偏りをなく工夫の一つと言えるかもしれない。ただ、偏りをなくすることに労力をかけるより、偏りを前向きに捉えること

はできないだろうか。一つの展示で、全ての市民に楽しんでもらおうと思うのではなく、誰(どの層)に観てもらいたいのかを発信し、その人がどうなればいいのかを設定すること、そしてその対象が満足できたら「よし」とする空気感をつくるということだ。ポケモン展を開催し、ゲームのプログラミングがしたいという子どもがいたならば、たとえ高齢者が来なかった、満足できなかった(偏りがあった)としても取り組みとしては成功だと、博物館内部はもとより市民も思っ



文学部 歴史学科 講師  
**工藤 克洋**  
専門分野 / 日本中世史・博物館学  
学芸員・歴史情報学

時代を照らす仏教のことば

慶ばしいかな、  
心を弘誓の仏地に樹て、  
念を難思の法海に流す。

親鸞『教行信証』(真宗聖典)東本願寺出版部 400頁

What's

### じんげんasile?

『じんげんasile』は、学生・保護者・教職員3者による話題共有を目的とした学内広報誌です。  
このタイトルは、本学の象徴である尋源(じんげん)館と、中世に存在した公的な避難所を表すフランス語「asile(アジール)」から命名されました。飛び立つ力をたくわえる「asile」のような大学でありたい、という願いが込められています。  
ぜひ、友人や先生、家族と、この冊子を開いてみてください。

# 新しい経験から、自分を創造する

大谷大学で学び、教員として本学と関わり続ける木越康教授。  
新学長への就任に際して、今後の大学としてのビジョンと  
学生へのメッセージを語っていただきました。



## いま必要なのは “枠”の外に出ること

世の中ではこの急速な台頭が、社会に大きな影響を与えています。信頼性が不透明な情報があふれる中であって、誰もが「自分の正義」を発信できる状況にもあります。そのような中で、大学で学ぶ意義はどこにあるのか、学生だけではなく、教職員もそれぞれよく考えないといけません。自分にとって都合のよい情報の中で、「自分の正義」を確立させることは危険です。自分という「枠」の外にでて、異なる環境に身を置くことがますます重要になるでしょう。学生の皆さんには、身近にある情報をそのまま受け取るのではなく、疑い、考える姿勢を身につけてほしいと思います。何かを信頼するときには、自分の判断軸が必要です。しかしその軸が、自分の「枠」にとどまる限り、決して本当の正しさを見いだすことはできません。また、教室で学ぶだけでは身につけません。必要なのは、多様な環境に身を置き、異なる価値観に出会う経験を重ねることです。本や新聞を読む、人と会う、サークルやアルバイト、ボランティア活動に挑戦する、思い切って海外に飛び出す。自分の「枠」から出たときに、初めて自身の軸を問いただすことができます。

## 「経験」と「疑い」が “動き出す力”を育てる

大学は“答えを教わる場”ではなく、自分なりの

“問いを見いだす場”です。問うという行為は、未来を生きる推進力になります。そのために大切なことは、疑うこと。疑いをもたないということは、こころが動かないということです。そこには何も起こらないし、何の変化も訪れない。「あれ？」や「おや？」という疑いをもつとき、こころは動きます。それが自らの軸を問い直し、新しい自己を創ることに繋がっていくのです。大学の教室で教わることも「本当にそうか？」と疑うことが大切です。「ああそうか！」と、一旦の答えを得ることができたとしても、その答えも、新しい経験の中では、疑い、問い直す対象になります。そのような繰り返しですが、「自分を創造することになるのです。この作業は、生涯続きます。慣れない環境に身を置く経験は、不安や戸惑いが多いでしょう。面倒だなと思うこともあるでしょう。しかし、初めての環境にふれたとき、人のこころは動き、自分の未来も拓かれていくのです。

## 社会を支えるのは寄りそう力

大谷大学の人間教育の考えを示すことばが「Be Real」「寄りそう知性」です。「Real」とは現実であり、その先にある真実です。大谷大学は「Real」を求める存在「Be」となって生きる人を育てたいと願っています。そのときの重要な指針が「寄りそう知性」です。最近自分ファースト的な価値観が叫ばれますが、仏教の考え方は真逆です。他者を中心に思考する姿勢が基本となります。自分ファースト

トではなく、他者ファースト。他者の苦しみと困難に寄りそう、そのような知性を育てることがこれからの社会には必要ですし、それが人間としての深さにもなります。たとえば、社会学部が実践するような過疎地域や高齢者に寄りそう学びは、地道な活動ですが、これからの社会が本当に必要とする知性でしょう。これは、大都会の有名企業に就職しても同じです。どのような場にあっても、最も大切なことは困っている他者に“どう寄りそうか”です。大谷大学は、学生がそれぞれの「寄りそう知性」を磨き、自分なりの「Real」を創造していける場を提供し続けます。



Profile  
第30代 大谷大学長  
**木越 康**  
Kigoshi Yasushi  
【専門分野】  
真宗学  
キリスト教との対話的研究  
ボランティア論  
宗教学

1963年、カリフォルニア州パークレー生まれ。大谷大学大学院 文学研究科 真宗学専攻 博士後期課程満期退学。文学部教授、大谷大学長を経て、カリフォルニア大学パークレー校客員研究員、大谷大学仏教教育センター長を歴任。2026年4月より第30代学長に就任。

# 2028 Otani next update!



大谷大学は、2028年に向けて  
変わり続けていきます。

大谷大学は、建学の理念に基づく人間教育のさらなる展開をめざし、「2028 Otani next update! -大谷大学将来構想-」のもと、さらに進化していきます。

……2027年4月

## 国際学部 京都文化学科\* 新設

京都を学ぶと、世界が見える。

京都文化学科は、京都の伝統文化と現代文化を国際的・学際的観点から考え、多様な人びとと交流することで、京都の文化に新たな価値を見だし、その発展と持続可能な活用を支える人物の養成をめざします。

1. 京都の文化を、多角的な視点から学ぶ
2. 京都の街中に出て体験と交流を通じて学ぶ
3. 持続可能な観光プロジェクトから課題解決力を養う
4. デジタルメディアを使って国内外に発信する力を養う



## 文学部 文学科 文デジ(文学×デジタル)プログラム 始動

文学の奥行きを、ひらく。小さなヒントをAIから。

生成AIなどのデータサイエンス技術がもたらすのは、むしろ「人間にしかできないことはなにか?」「人間らしさとはなにか?」という問いです。

文学科では、データサイエンスを活かした作品分析や、創作の一部にAIを活用するプログラムを設置し、ことばの知識とデータサイエンス技術を備えた社会人の育成をめざします。



……2026年4月

## 教育学部 教育学科 初等教育コース 数理教育専攻 誕生

中学校・高等学校(数学)教員免許状の取得が可能に。

第1学年から学校ボランティアによる現場体験を通じた実践的な学びと、少人数制教育による深い学びを重視し、高い専門性を備えた教育者を養成します。

1. 教員に必要な高い「授業力」が身につく
2. 学校運営・学級経営能力が修得できる
3. 実践力を磨き、専門性を高められる環境
4. 数学専任教員による一貫サポート体制



\*2027年4月開設予定(仮称)、設置構想中。計画は予定であり、変更することがあります。

世の中の現実に向きあいながら真理を探究する

# Be Real 寄りそう知性



「Be Real -寄りそう知性-」は、近代化130年(2031年)に向けて策定した大谷大学第2次中期プラン「グランドビジョン130」の核となることばです。情報があふれ、価値観が多様化し、分断や孤立が広がる現代において、「自分さえよければいい」という発想では社会は前に進みません。必要なのは、現実から目をそらさず、自分の考えをもつと同時に、他者の痛みや背景を想像してともに歩める人です。いかに困っているところにまなざしを向けられるかどうかです。それは、教室の中での学びだけではなく、フィールドワークやボランティア活動など学外での活動も、その感性を育てる大切な機会になります。相手の立場を知り、社会と誠実に向きあうことで、自分の力をどこに使うべきかを考える本物の知性が育っていくのです。

\*2027年4月開設予定(仮称)、設置構想中。計画は予定であり、変更することがあります。

大谷大学は、現在、建学の理念に基づく教育・研究のさらなる展開をめざし、新たな改革に取り組んでいます。2026年4月に教育学部教育学科初等教育コースに「数理教育専攻」を開設し、大谷大学らしい「文理融合」の学びが始まります。また、2027年4月には国際学部(仮称)に京都文化学科(仮称)\*を新設する準備を進めており、国際的な歴史・文化都市である京都を舞台に、文化と地域にふれる学びを展開していきます。さらに、2027年4月からは、文学とデジタルを融合した文学部文学科の新しい学びの領域として「文デジ(文学×デジタル)プログラム」が始動します。文学科で大切にしてきた学びを土台に、さらに文学研究の可能性を広げていくプログラムです。データサイエンスによる分析やAIの活用から語彙・表現・構造を可視化し、新しい価値をつくりだす学びの場となります。時代はものすごいスピードで変化しますが、柔軟に対応しつつ、本当に必要なものは何かを見極める。そういう力をもった人を育てることが大谷大学のめざす教育です。

社会と誠実に向きあい  
進化する大谷大学

変わりゆく時代の中で  
本質を見抜く力を育てる

現実と向きあい、  
他者にまなざしを向ける学びへ

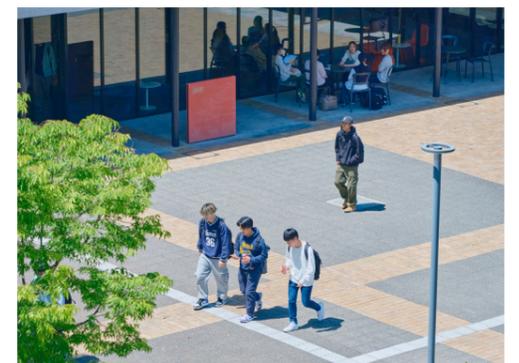
### 《変化と成長を育む新メッセージ》



現状を常に「なぜ?」と疑い、新しい変化と成長のきっかけを生み出す大谷大学の学び。「ナゼカ」を新しいキーワードにして、社会に向けて発信していきます。



本学のアドミッション  
サイトにて発信中 →





**Topics**  
 高校生・中学生  
 2025年度開催 第13回  
 大谷大学文藝コンテスト受賞作品決定  
 7月から応募受付を行っていた「大谷大学文藝コンテスト」の受賞作品が決定しました。全国から計2,755作品の応募がありました。



受賞作品一覧はこちら▶



2026年1月14日  
**地域住民対象スマホ教室イベント**  
 「Smartphone・Quest ～ウォークイズ大冒険～」を開催  
 本プロジェクトは、地域住民のデジタル・デバイス解消を目的に、今年度15回実施しました。1月14日の最終回は、イベントとしてスマホ基礎用語クイズ大会、スマホを用いたウォークラリーを実施し、20名の方にご参加いただきました。



2026年1月9日  
**【語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)】**  
**アメリカ人留学生との交流会を開催**  
 アメリカのCollege of William and Maryの大学生との交流会を開催しました。昨年に引き続き2回目の交流となります。交流会には32名が参加し、アマ教授による仏教学講義のあと、腕輪念珠作りと2種類のゲームを英語で楽しみました。



2025年11月30日  
**子どもの居場所づくり事業**  
**「みんなで楽しむオペレッタ」に**  
**本学教育学部の学生が出演**  
 仰木の里公民館(滋賀県大津市)で、「みんなで楽しむオペレッタ」が開催され、教育学部教育学科幼児教育コースの第3学年の学生40名が子ども向けのオペレッタ(小さな音楽劇)を上演し、笑顔あふれる公演となりました。



2025年11月1日  
**珈琲研究会が**  
**清明高校でコラボcafeに協力**  
 地域に寄りそうプロジェクトで活動する「大谷大学珈琲研究会」が、京都府立清明高校の学校祭「つばめ祭」において生徒のカフェ出店に協力。非常に多くの方が来店し、学生と高校生は声をかけあいながら、計145杯のホットコーヒーを売り上げることができました。



2025年11月1日  
**本学学生が「第5回韓日大学生文化フォーラム」で銀賞を受賞**  
 韓国と日本の大学生が共同で調査・研究の成果を発表し、相互理解の深化を図る「第5回韓日大学生文化フォーラム」において、本学学生4名と2名の留学生が発表チームを構成して参加し、銀賞という好成績を収めました。

**2026年度前期博物館開館予定**  
 ※詳細は本学ホームページをご覧ください。

**春季企画展**  
 2026年4月1日(水)～5月9日(土)  
 大谷大学のあゆみ 清沢満之と真宗大学

**夏季企画展**  
 2026年6月2日(火)～8月2日(日)  
 秀吉軍記の世界で 豊臣秀長になってしまった件

**秋季企画展**  
 2026年9月5日(土)～9月26日(土)  
 大谷大学博物館の逸品 華厳十重唯識瑞鑑記 実習生展併催

課外活動団体で広がるキャンパスライフ! **2026年度新入生歓迎イベント 若葉祭**

**2026年4月18日(土)開催予定!**  
 新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月18日(土)に新入生歓迎実行委員会が若葉祭を企画しています。若葉祭では課外活動団体のパフォーマンスや活動紹介を行い、教室にて課外活動団体の展示・勧誘ブースなどの企画を実施する予定です。ぜひご参加ください。  
 ※企画は変更・中止となる場合がありますので予めご了承ください。

2025年12月17日・19日  
**【総合研究室】助教と大学院生による「和綴じワークショップ」を開催**  
 卒業研究・論文を和綴じで提出予定の学生や、日本の伝統文化である和綴じを体験してみたい学生を対象に開催されました。当日は、企画した下村助教に加え、各日2名の大学院生が参加者計11名へレクチャーを行いました。

2025年12月14日  
**「おおたにキッズキャンパス～冬のわくわく教室～」を開催**  
 教育学部教育学科初等教育コースの学生が中心となって子どもたちとの交流イベントを実施。子どもたちが季節を感じながら楽しく学べる企画を考え、当日は子どもたちとふれあいながら、創意工夫してコーナーの運営を行いました。親子70名の参加がありました。

2025年12月1日  
**長浜市教育委員会との保育に係る連携と協力に関する協定を締結**  
 協定締結に伴い、長浜市の保育人材育成や人材確保の現状や施策を共有するとともに、長浜市から本学教育学部教育学科幼児教育コースに進学した学生に対する支援について意見交換を行いました。

**SNSでも大学の動きをチェックしよう!**

Instagram | X (旧Twitter) | Facebook | YouTube

otani\_univ | @otaniuniv\_staff | @otaniuniversity | otaniuniversity

**大学Webサイトでも最新情報を更新中!**

**Club Information**

2025年度秋季大会結果(2026.2.1時点)

**卓球部**  
 ●令和7年度関西学生卓球秋季リーグ戦  
 4部Cブロック5位(4部残留)

**硬式野球部**  
 ●2025年度京滋大学野球連盟秋季リーグ戦1部4位

**サッカー部**  
 ●2025年度第103回関西学生サッカーリーグ(後期)  
 4部Bリーグ4位(4部残留)

優秀選手賞(ME)  
 小嶋晟央(文学部 歴史学科第4学年)  
 廣瀬 通人(社会学部 歴史学科第4学年)  
 優秀選手賞(FW)  
 本田 聖(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)

得点王  
 本田 聖(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)  
 アシスト王  
 阿瀬 拓也(社会学部 コミュニティデザイン学科第4学年)

得点ランキング  
 1位 本田 聖(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)  
 5位 小嶋 晟央(文学部 歴史学科第4学年)  
 10位 酒井 理至(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)  
 16位 西川 享佑(社会学部 現代社会学科第1学年)  
 廣瀬 通人(社会学部 コミュニティデザイン学科第4学年)  
 佐々木 峻介(文学部 歴史学科第2学年)  
 24位 西川 流星(文学部 歴史学科第2学年)  
 前垣 成例(社会学部 現代社会学科第2学年)  
 野崎 育真(文学部 歴史学科第2学年)

アシストランキング  
 1位 廣瀬 通人(社会学部 コミュニティデザイン学科第4学年)  
 2位 本田 聖(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)  
 5位 西川 享佑(社会学部 現代社会学科第1学年)  
 16位 前垣 成例(社会学部 現代社会学科第2学年)  
 酒井 理至(社会学部 コミュニティデザイン学科第2学年)  
 25位 小嶋 晟央(文学部 歴史学科第4学年)  
 西川 流星(文学部 歴史学科第2学年)

**バスケットボール部**  
 ●2025年度関西学生バスケットボールリーグ戦4部Aブロック4位(4部残留)

**バレーボール部**  
 ●2025年度関西大学バレーボール連盟男子秋季リーグ戦7部1位(6部昇格)

**バドミントン部**  
 ●令和7年度関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会男子3部8位  
 女子3部8位  
 ●令和7年度京都学生バドミントン新人戦大会男子ダブルス  
 16位 浅田 翼(社会学部 コミュニティデザイン学科第1学年)  
 山本 大翔(社会学部 コミュニティデザイン学科第1学年)

**スポーツチャンバラ同好会**  
 ※2026年4月より「小太刀護身道同好会」に名称変更  
 ●第11回スポーツチャンバラ近畿学生選手権大会団体5位(全国大会出場)

※学年は大会時のものです



**5 講堂棟**  
入学式・卒業式やさまざまな宗教行事が行われる講堂のほか、地下1階には学内食堂があります。

**6 体育館**  
アリーナや剣道部、卓球部、空手道部が使用する練習室のほか、トレーニングマシンなどの設備が整ったトレーニングルームがあります。

**7 8 4・5号館**  
主に教職課程に関する授業が行われます。実際の学校や保育現場の様子がイメージしやすい模擬授業教室・多目的ルームや音楽室・図工室・理科室・ピアノレッスン室などがあります。4号館1階には授業で使用する教材・教具や教科書、指導書がそろった資料室を備えた教職支援センターがあり、教員を志す学生の支援を行っています。



**1F 教職支援センター**  
窓口で履修相談が受けられるほか、学校ボランティアや教育実習、教員採用試験の相談などによってくれる頼れる教職アドバイザーが常駐しています。教員をめざす人はぜひ利用してください。

**9 響流館**  
図書館、博物館、総合研究室、真宗総合研究所、メディアホールなど、さまざまな教育・研究効果を高める施設を配置しています。また、学内食堂付近には、学内コンビニ、学内書店があります。

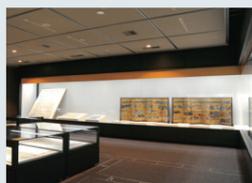
**B2F-2F 図書館**  
蔵書数は90万冊以上、1・2階の閲覧室には約15万冊の図書や資料が設置されています。2階のカウンターではノートパソコンの貸出も行っているため、レポート作成や情報収集に活用することができます。



**1F 地域連携室(コミュラボ)**  
大学や学生が取り組む地域連携活動を支援しています。地域連携アドバイザーがプロジェクトの運営などについてアドバイスや情報提供しているほか、学生のワークショップなどにも活用されています。



**1F 博物館**  
真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学などの分野の、貴重な典籍や民俗資料など約12,000点を所蔵し、そのうち10件が国の重要文化財に指定されています。定期的に企画展や特別展を開催しています。



**3F 総合研究室**  
学術分野ごとに4つの研究室があり、学生は全ての研究室を利用できます。研究に必要な図書閲覧、ノートパソコンの貸出のほか、グループワークや各研究室に常駐する助教に研究の相談もできます。



**4 博綜館**  
1階には保健室・学生相談室・人権センター、2～5階には、教員の個人研究室があります。



**2 2号館**  
仏教教育センターや幼児教育関連の実習室があります。



**1 尋源館(国・登録有形文化財)**  
1913年に竣工され、2023年に110周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴の本学のシンボルです。2階の尋源講堂では、朝の勤行などが行われています。



**3 慶間館**  
1階中央の学生ロビー「ミニール・プラザ」の周りには、学生支援部窓口、学習支援室、文藝塾、語学学習支援室などさまざまな学習支援施設を配置しています。3階には情報系教室、4・5階には教員の個人研究室もあります。

**1F 文藝塾**  
プロの技術を学び、文章力を鍛える「道場」で、「書く力」を養うための場です。文藝を通じた交流サロンとして、ガラス張りのスペースには、さまざまな学生が集います。



**1F 学習支援室 (LEARNING SQUARE)**  
基礎学力向上のための、サポートスペースです。アドバイザーから外国語やレポートの作成方法について個別指導が受けられます。



**1F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)**  
海外留学や外国語習得、海外の文化に関心のある学生や、外国人留学生が集う場所です。外国語学習の機会や交流会の開催、留学希望者へのサポートなど、きめ細かく支援します。



**PICK UP! アクティブ・ラーニングスペース**



**5F コモンスペース**  
[大型モニター・ホワイトボード完備]  
モニターを使ったディスカッションやグループワークが可能なアクティブラーニングスペースです。



**2F/4F サブゼミスペース**  
[プロジェクタ・ホワイトボード完備]  
だれもがここで行われるプレゼンテーションやイベントに参加できるオープンスペースです。



**2F~5F マルチスペース**  
各フロア3カ所に設けられており、尋源館を望める場所。自主学習やグループワークなどに活用できます。

キャンパスライフを充実させる  
課外活動団体一覧

# 72 団体

委員会・総部	社会総部   10 団体
中央執行委員会	仏教青年会
新入生歓迎実行委員会	伝道部
学園祭実行委員会	児童教化研究会
文化総部(役員・幹部)	スカウト部
体育会(役員・幹部)	児童文化研究会
社会総部(役員・幹部)	ユースホステル旅行研究会
音楽総部(役員・幹部)	自然愛好会
文化総部   16 団体	音楽総部   10 団体
華道部	尺八部
茶道部	男声合唱団
能楽部	軽音楽部
E.S.S.	箏曲部
写真部	ギター部
映画研究部	混声合唱団
美術部	アメリカ民謡研究部
書道部	吹奏楽団
大谷文芸	フォーク研究会
歴史学研究会	ジャズ研究会
古美術研究会	新聞社・放送局
落語研究会	新聞社
民俗学研究会	放送局
漫画研究部	同好会   12 団体
演劇部	ワンダーフォーゲル同好会
京都文化研究会	飛行研究会
体育会   15 団体	ダンス同好会
卓球部	SF研究会
柔道部	TRPG同好会
空手道部	自動二輪同好会
硬式野球部	推理小説研究会
サッカー部	聲明研究会
弓道部	大谷弦楽アンサンブル
陸上競技部	手芸サークル
剣道部	水泳同好会
バスケットボール部	小太刀護身道同好会
スキー競技部	
ソフトテニス部	
バレーボール部	
バドミントン部	
跆拳道部	
アメリカンフットボール部	

## 茶道部

お点前や畳の歩き方、立ち振る舞いなど茶道の基礎を大切にしながら、落ち着いた雰囲気の中で週2回稽古に励んでいます。稽古以外にも留学生との交流や、子ども食堂での茶道体験などに参加しています。年2回のお茶会の開催を目標としています。普段は入ることのできない貴重な茶室で裏千家のお家元のもとで稽古を受けることができ、姿勢や所作など一つひとつを丁寧に指導いただけます。この経験ができるのは京都の大学でも限られており、とても貴重です。今年の秋に茶道部は設立75周年を迎えます。部員の多くは未経験でみんなゆっくりと成長していける環境ですので、ぜひ見学・体験にお越しください！



## 手芸サークル

週に1~3回、刺繍や編み物のような裁縫だけでなく、折り紙やプラ板などそれぞれが好きなものを製作しています。部員一人ひとりが楽しく創りたいものを製作することを一番の目標に、紫明祭で作品を販売することをめざす部員も多いです。デザインや材料にこだわった作品が誰かに喜ばれて実際に使ってもらえたときは、創作意欲を支えるモチベーションにつながります。異なる学科や学年の学生と同じ趣味を共有でき、自分の「好き」を語り合いながら手を動かせることが魅力です。普段から手芸をしている方も、初めての方も大歓迎です！どんな作品を創っているのか気になったらぜひ気軽に見学に来てください。



## 軽音楽部

部員内でバンドを組み、演奏を通して交流を深めています。一般の来場者に向けたライブや、部員だけで楽しむライブなど、さまざまな形のライブがあり、それぞれ好きなタイミングで出演することができます。また、部内の交流を深めるために週1回総会を行っています。一人ひとりが好きな音楽を主張し、心から楽しむ演奏ができるように努めており、部員みんなが仲良く活動しています。そのため、一人ひとりの「この曲をやりたい」というリクエストには、みんなが快く受け入れてくれて、一緒に演奏をしてくれます。楽器の経験が無い方も大歓迎！少しでもバンドや音楽をやってみたい方は見学に来てください。インスタやXで連絡をお待ちしております。



## 剣道部

生涯を通じて成長し続けられる武道として、心技体を磨くことを目的に、剣道の基本技を主体として日々稽古に励んでいます。剣道を通じて、大谷大学だけでなく他大学の学生とも関わりをもつことができ、自分のコミュニティを広げることが可能です。単に強さを求めるのではなく人間としての成長を大切にしているので、高校までのような厳しい稽古とは違い、どうすれば良いかを自分で考えて稽古を行うことができる点も特徴です。大学生になって剣道を始めたい方や、少しでも続けたい方はぜひ入部してください！



好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう！







# 先輩学生からの

# メッセージ

晴れて就職が決まった  
学生4名に直撃インタビュー!  
それぞれの大学生活や  
就職活動について話を聞いてみました!

## 異なる価値観を知り、 まとめた経験をアピールしました

国語が好きだったので、文学に強い大学を探しました。合同企業説明会で聞いた市役所の部署異動の話が印象的で、長い人生の中で幅広い領域の仕事に携われると思い志望。面接では硬式野球部のマネージャーとして、部の運営や管理業務など、多岐にわたる業務経験や部員同士の価値観の違いがある中でチームをまとめた経験もアピールできました。また、面接などはキャリアセンターのサポートが心強かったです。面接では過去の失敗談なども含めて自分をつくらずに正直に伝えたことを評価していただいたと実感しています。これからは、地域の人たちの声を直接聞き、地域に貢献できる人をめざします。

就職先 **京都市役所**

山崎 珠尚  
文学部 文学科 2025年度卒業



## 好きなことを見つけ、 スキルを伸ばせる環境

大学の地域創生の授業で京都の街づくりを学び、観光への興味が芽生えました。大学の友人と訪れた金沢旅行で観光の魅力を実感し、就職活動では観光業界を中心に企業研究を進めました。活動を始めた当初は将来の展望が見えない状態でしたが、複数の企業のインターンシップに参加し、企業風土の違いを肌で感じることで自分なりの判断基準が生まれました。最終的に「自分にあう雰囲気」を感じた内定先を選びました。また面接への苦手意識を克服するため、キャリアセンターの面接セミナーなどを利用し、練習を重ねました。これからの目標は、お客さま全員に笑顔を届けること。将来は大学で学んだ地域創生分野で活躍したいと考えています。

就職先 **名鉄観光サービス株式会社**

稲吉 勝道  
社会学部 現代社会学科 2025年度卒業



## 柔軟な対応力と指導力で、 子どもたちの学びをより豊かにする教師へ

地元の滋賀県で小学校教諭として、子どもたちの成長を支える教師になりたいと考えました。その思いから教育学部があり、雰囲気が自分にあっていた大谷大学を選びました。入学後は第1学年から学校ボランティアで小学校の授業サポートに参加し、子どもたちの予想外の質問や回答に応える中で、大学の座学や模擬授業では得ることのできない現場ならではの貴重な経験を積むことができました。特に苦労したのは実技指導での立ち振る舞いです。教職アドバイザーからの助言を参考に、試行錯誤を重ねて克服しました。これからはタブレットやアプリなどICTを積極的に取り入れ、子どもたちともに学び、成長していける教師をめざします。

就職先 **滋賀県 公立学校教員**

西尾 遥翔  
教育学部 教育学科 初等教育コース 2025年度卒業



## キャリアセンターと一緒に磨いた 自己分析が本番の自信につながりました

韓国ドラマにハマったことをきっかけに韓国の文化に興味をもちました。アジアや欧米についても学びたいと考え、2年次から好きな異文化コースを選択できる大谷大学へ。他国の考え方や価値観などの学びによって、幅広い視野から物事を捉えられるまで成長できたと実感しています。就職活動では地元で貢献する軸で考え、商品が身近で、参加したオープンカンパニーでも雰囲気の良さを社員の方々の話から感じた会社を志望しました。初めは面接の受け答えが苦手でしたが、キャリアセンターを活用して面接練習を重ねることで、どんな質問にも落ち着いて回答できるように。就職後も、常に初心を忘れずに丁寧な仕事に励みたいと思います。

就職先 **ハナマルキ株式会社**

井澤 蒼  
国際学部 国際文化学科 2025年度卒業





## 2026年度学校納付金

本学では、学校納付金を口座振替により納入いただいております。金融機関窓口での振込手続きが不要となりますので、振替口座の登録をお願いします。

学校納付金は「前期」と「後期」の2回に分けて、納入いただいております。振替日の前日までに振替通知書に記載の金額を登録口座にご入金ください。事情により振替日まで振替(振込)が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを行ってください。

	前期	後期
口座振替日	4月27日(月)	10月13日(火)
振替通知書 発送	4月上旬	9月上旬
学費延納 手続締切	4月15日(水)	9月30日(水)

※納入期日までに納入(振替)のない場合は、学期により除籍となります。  
※学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)の提出が必要となります。

### 学校納付金はこんなことに使われています。

【授業料】大学において最も重要な事業です。建学の理念に基づく学びの実現に向けた授業を展開しています。

### 教育後援会だより

#### 2025年度教育後援会事業について(報告)

##### 【全国保護者懇談会】開催

2025年9月7日(日)、本学を会場に「全国保護者懇談会」を開催しました。当日は、午前と午後2部制にて開催し、276名が出席されました。

#### 2025年度 開催内容

- 学生支援説明会**  
\*教育後援会会長(保護者代表)の開催挨拶のあと、本学執行部から、本会開催の趣旨説明および大学の現況が報告されました。また、学生支援部職員から、履修状況の確認方法や、奨学金制度など学生生活の支援体制、さらに近年の就職状況の傾向や就職活動の支援体制についての説明が行われました。
- 教員との個別相談**  
\*学生の演習(ゼミ)での様子や履修状況など、学生生活のご不明な点について指導教員との個別相談が行われました。
- 学生支援個別相談**  
\*単位の修得状況や奨学金手続き、就職活動などについて個別の相談が行われました。
- 学生によるキャンパス見学ツアー

#### 地区別保護者懇談会(信越/中国・四国)開催

2025年9月に信越地区(長野・新潟)、12月に中国・四国地区(広島・鳥取)の4会場において「地区別保護者懇談会」を開催しました。

各会場では、教育後援会役員および本学執行部の挨拶に続き、学生支援部職員から、履修状況の確認方法や、クラブ活動・奨学金制度などの学生サポート体制について、さらに近年の就職状況の傾向や支援体制についての説明が行われました。その後の個別相談会では、学生の履修状況や就職活動状況などについて、一人ひとりの相談に応じ、和やかな雰囲気の中、保護者からも熱心に質問する様子が見られました。

#### 各種補助について

2025年度は、物価高によって影響を受けている学生への支援として、学内食堂で提供される

【学習支援室(Learning Square)】リメディアル教育に主眼を置き、常駐する3名の学習支援アドバイザーが基礎英語・日本語の読み書きを中心とした個別指導を行っています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」などの文藝塾関連科目を中心に授業としての活用、また、課外活動や読書会等を実施しています。

【教職支援センター】履修相談や実習などの事務手続きはもとより、教職アドバイザーによる教員採用試験をはじめとした各種相談への対応、学校ボランティアの紹介、地域連携企画・運営など、教職課程に関わる支援を行っています。

【地域連携室(コミュニラボ)】各種地域連携プロジェクトに参加する学生を対象に、外部の団体との出会い・対話を通して、社会を生き抜く力を養うための支援などを行っています。

【語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)】国際交流の拠点として留学生と日本人学生の交流機会を提供するほか、学生が主体的に留学や外国語学習に臨むことができるよう支援しています。

【施設費】本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行い、教育・研究環境の整備・充実を進めています。

#### ■大谷学会費

本学の学術研究の推進およびその成果の公開を目的として、春季公開講演会や秋季研究発表会を開催し、「大谷学報」や「大谷大学研究年報」を発行しています。

2種類の日替わりランチについて1食あたり60円の補助を行いました。また、恒常的な補助として、2025年度も課外活動団体への助成、職業適性検査実施や模擬面接指導員などの就職支援に対する助成、奨励金の給付や各種奨学金の給付・貸与が行われました。

#### 2026年度保護者懇談会開催について(お知らせ)

2026年度は次のとおり保護者懇談会を開催する予定です。是非、ご出席ください。  
なお、全国保護者懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦に鑑み、決定しております。



全国保護者懇談会の様子 個別相談の様子(新潟会場)

#### 2026年度保護者懇談会

*全国保護者懇談会	9月5日(土)	大谷大学
*東北・関東地区保護者懇談会	10月24日(土)	仙台会場
	10月25日(日)	東京会場
*東海地区保護者懇談会	12月5日(土)	静岡会場
	12月6日(日)	名古屋会場

※詳細につきましては、本学ホームページにてお知らせいたします。  
(地区別保護者懇談会) 該当地区在住の保証人へご案内いたします。

#### 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることを目的に、各種の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

#### ■学生会費

学生会は、学生全員が構成員として学生相互の自治に基づき、学生生活全般の発展向上を目的として組織されています。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

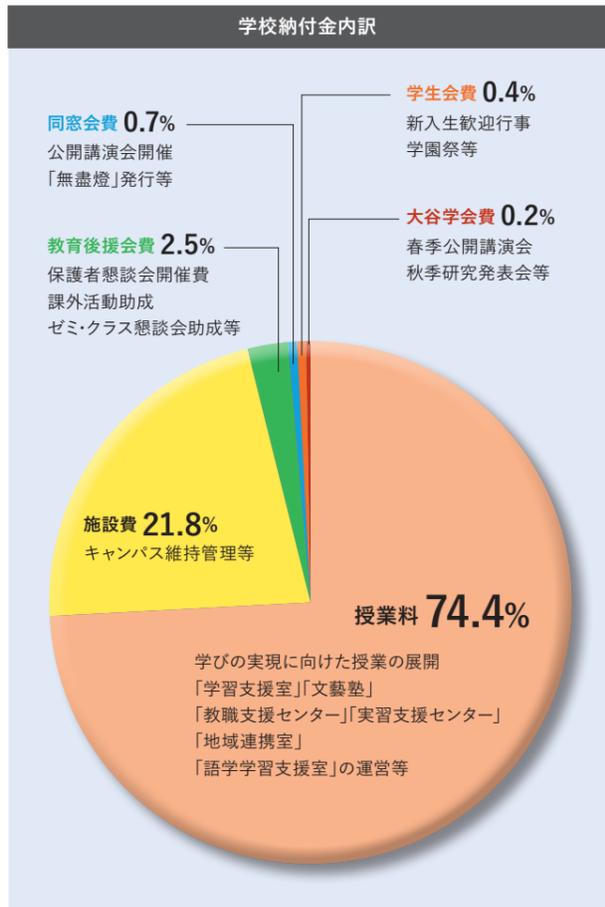
#### ■教育後援会費

全国各地で開催される保護者懇談会の運営ほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。また、ゼミ・クラス懇談会への助成、学内食堂やグラウンド運行バスの助成、学生総合保障制度や賠償責任保険への加入助成、勤労学生表彰奨学金、文芸奨励金等、さまざまな助成を行っています。

#### ■同窓会費

同窓会費(終身会費)は、入会金とあわせて、原則として最終学年の後期に徴収しております。同窓会の運営費としてです。

「大谷大学公開講演会」は、大学から講師を派遣し、同窓会の地域支部と協働して大谷大学の教育・研究活動を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」では、タイムリーな活動情報を提供しています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生在が卒業・修了と同時に同窓会に入会の関係理解を深めてもらうために、卒業・修了のお祝いと同窓会入会の歓迎を兼ねて催すものです。



### 教育振興資金(募金)

2025年7月1日から2026年1月31日までの間、教育振興資金へご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。  
募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

#### 税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

#### 教育振興資金寄付者(敬称略)

2025年7月1日～2026年1月31日

【個人】  
片岡 直子 (滋賀県)  
岩田 理恵 (三重県)

◆件数 2件  
◆寄付金総額 170,000円

2025年2月1日～2026年1月31日

◆件数 64件  
◆寄付金総額 10,240,000円

#### こんな寄付方法もあります!

##### 京都市のふるさと納税を通じたご支援

京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」として「大谷大学と協働」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金の一部が、大谷大学の社会貢献活動の費用に充てられます。

※総務省の告示により、京都市内にお住いの方は、返礼品を受け取ることができません。

##### OTANI古本Project —ヒロガル×ツナガル学生支援—

読み終わった本や不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を、指定会社にご送することで、本の買取価格が大谷大学への寄付となり、大谷大学在学生在が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等に充てられます。



古本募金回収ボックス(図書館1階に設置)

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。

詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。

#### 大谷大学募金